

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告 この表示の欄は「死亡または重症を負う恐れがある」内容です。



注意 この表示の欄は、「軽症、物的損害、故障が生じる恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。




このような絵表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に本ガイドとWEB取扱説明書を必ずお読みください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

**詳細は
WEB 取説を
ご覧ください**





ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュートラルの取組の一環として、紙の取扱説明書を大幅に削減いたしました。どうぞご理解ください。





日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。



警告（製品に係る安全事項）

 禁止	エンジンが熱いうちは、給油しないでください。	 強制	運転中は、排気ガスに十分注意してください。
	燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。		燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
	運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。		燃料をこぼさないように注意してください。
	換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。		燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。
	回転している部分の近くに手や足を入れないでください。		燃料キャップは確実に締めてください。
	エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。		刃物の取付けは確実に行ってください。
	改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。		必ず両手でしっかり本体を保持してください。
	ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよく理解したうえでご使用ください。		エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
	正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。		始動前点検を実施してください。




⚠警告（製品に係る安全事項）

 禁止	未成年者の単独使用は禁止です。保護者等の監督下で作業してください。	 強制	使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
	成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。		燃料は潤滑油混合ガソリンを使ってください。
			部品交換は、純正部品を使用してください。
			本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。
			定期点検整備を行ってください。
			子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

⚠注意（製品に係る安全事項）

 禁止	指定された用途以外には使用しないでください。	 強制	燃料は潤滑油混合ガソリンを使ってください。
			長期間使用しない場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
			給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
			部品交換は、純正部品を使用してください。
			本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。

⚠警告（作業に係る安全事項）

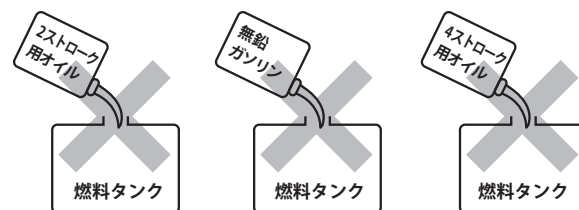
 禁止	身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用しているときは、使用しないでください。	 強制	長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい安全靴、防振手袋、保護メガネ、ヘルメット、耳栓、防塵マスク、すねあてなどの作業に適した服装を着用してください。	
	動作中は刃や回転部分に顔や手足を近付けないでください。		長い髪は束ね、帽子やヘルメットでカバーしてください。	
	ご使用時は、使用者から15m以内は危険です。人や動物が入らないようにしてください。		万一来るに備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。	
	夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。		本機を長時間使用しないときは、取扱説明書にしたがって保管してください。	
	足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。		適切な間隔で休憩をとってください。	
	燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。		石、コンクリート、金属、など硬質な物がある場所では使用しないでください。	

⚠警告（作業に係る安全事項）

<div> <div> </div> <div> </div> </div>	<p>作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。</p>	<div> <div> </div> <div> </div> </div>	<p>本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。</p>
	<p>急傾斜地では使用しないでください。</p>		<p>危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。</p>
	<p>機械の稼働部分に絡まるような衣服は着用しないでください。</p>		<p>キックバックに注意してください。</p>
	<p>エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。</p>		<p>持ち運ぶときは、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜き、刃が完全に止まってから、刃にカバーをつけてください。</p>

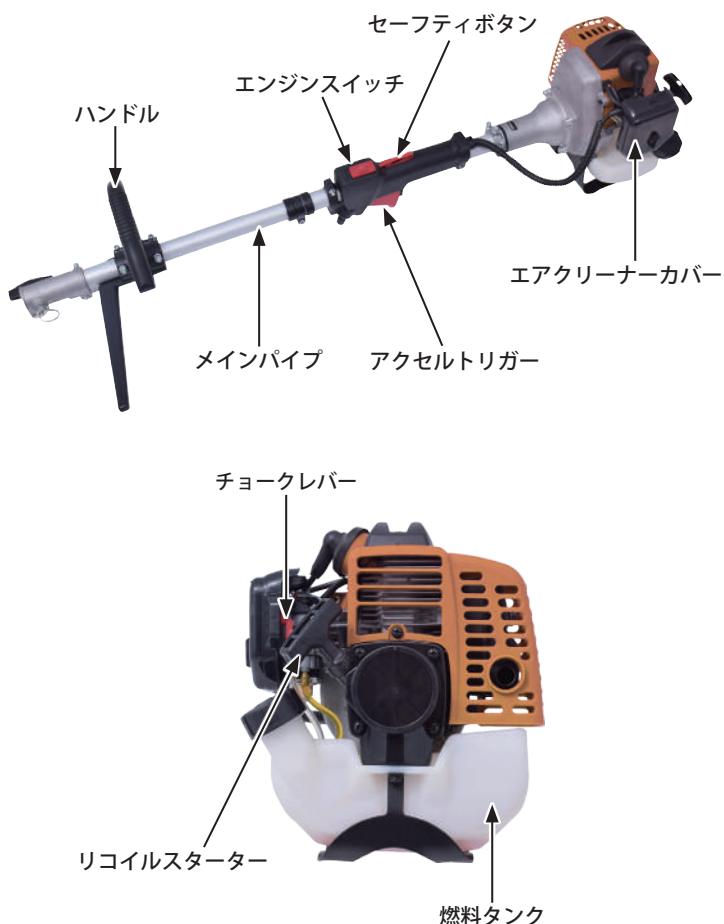
⚠警告

- ・弊社は、燃料の販売はしておりません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・燃料タンクに、2ストローク用オイルだけ、無鉛ガソリンだけを入れないでください。
- ・燃料タンクに4ストローク用オイルを入れないでください。

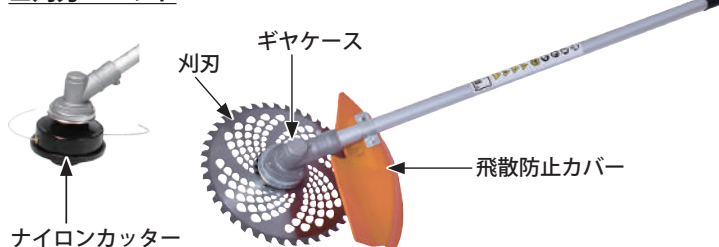


各部の名称

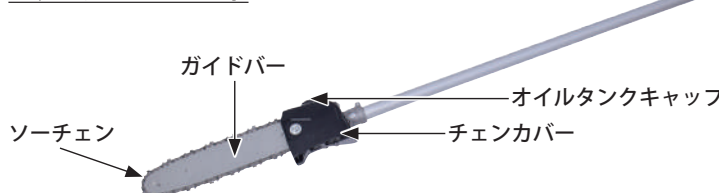
※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



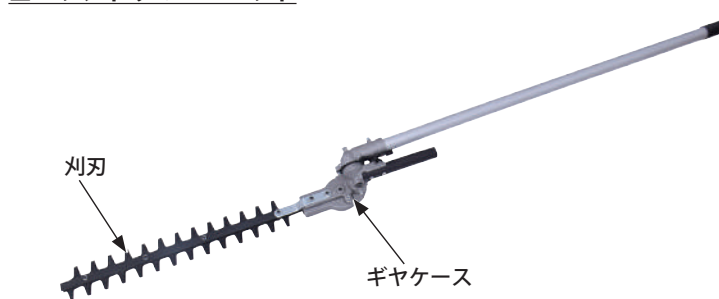
■刈刃ユニット



■チェーンソーユニット



■ヘッジトリマーユニット



梱包部品一覽

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1 週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

!

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体	B. 刈刃	C. 肩掛けストラップ
D. 刈刃ユニット	E 混合タンク	F. ナイロンカッター
G. チェンソーユニット		
J. ヘッジトリマーユニット	H. ガイドバー	I. ソーチェン
K. ハンドル	L. 飛散防止カバー	M. 工具★

※写真はプロトタイプのため、製品仕様は変更になる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。
★サービス品です。予告なく終了する場合があります。

■ご用意いただくもの

混合燃料を作る場合に必要になります

- ・無鉛レギュラーガソリン
- ・2 ストローク用オイル JASO FB またはFC、FD
- ・漏斗（じょうご）

主要諸元

モデル名	HG-BC260T
エンジン	2 ストローク空冷エンジン
排気量	26cm ³
始動方式	リコイルスターター
燃料	混合燃料（25：1）

燃料タンク容量	600ml
3 軸合成値	8.0m/s ² K=1.5m/s ²
互換点火プラグ	BPM7A(NGK)
センターボルトサイズ	M10 × 1.25
刃受け金具サイズ	Ø25.4mm
ヘッジトリマー切断能力※	最大切断長さ：410mm 最大切削直径：Φ 16mm 刃最大ピッチ：24mm
チェンソー切断能力※	Φ 254mm
寸法（長さ×幅×高さ）	本体900 × 220 × 250mm
寸法（全長）	刈刃ユニット880mm チェンソーユニット890mm ヘッジトリマーユニット1380mm
重量	本体3.8kg 刈刃ユニット1.2kg チェンソーユニット1.2kg ヘッジトリマーユニット2.2kg
互換ソーチェン	OREGON（オレゴン） 91PX39 ピッチ3/8 インチ ゲージ0.050 インチ（1.3 mm） ドライブリンク数39

※最大切断能力は、樹種や刃物の切れ味などにより変わる場合があります。

◎弊社は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

振動障害の防止

●1日の使用時間について

1日の作業時間は、機体または取扱説明書に表示の「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」により、厚生労働省通達で決められています。

① 10m/s ² より小さい場合	
1 回の連続作業時間	10 分以内
1 日の作業時間	2 時間以内

●製造時の振動レベル維持のため

- ・定期的に点検、整備を行い、常に最良の状態を保ってください。
- ・異常がある場合、速やかに使用を中止し、点検整備を行ってください。

組立て

⚠警告

- 組立を行うときは、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- 作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- 組立後は、すべての部品が確実に取付けていることを確認してください。

ハンドルの組立て

- 1 ハンドルに仮留めされているボルト4本を一旦外します。



- 2 本体のパイプをハンドルブラケットの上下で挟み込みます。

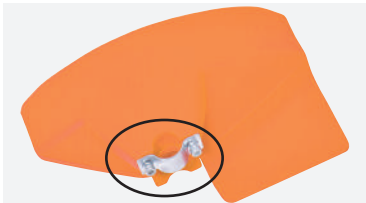


- 3 4本のボルトを均一に締め、ハンドルをしっかり固定します。



飛散防止カバーの取付け

- 1 飛散防止カバーに仮留めされているボルトを一旦外します。(写真は別機種です。)



- 2 飛散防止カバーに刈刃ユニットをセットします。



- 3 取付金具をボルトで固定します。



⚠警告

- 刈刃を取付けるときは、必ずエンジンを停止してください。
- 刈刃にひび割れ、変形がないことを確認後、取付けてください。
- 刈刃の取付けは、手袋着用の上、行ってください。
- 取付け後、刈刃にがたつきがなく、中心の丸穴にずれが無いことを確認してください。
- エンジンをかけた際、振動が大きい場合は、偏心の可能性があります。そのまま使用されますと、重大な事故や故障につながります。刈刃は確実に取付けてください。

刈刃の取付け

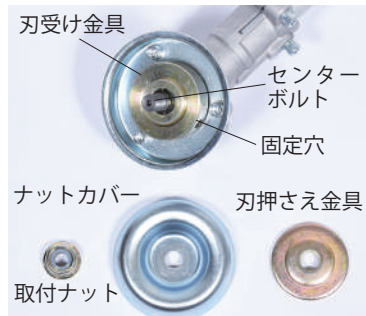
刈刃を取付けます。

■使用工具:六角レンチ、ボックスレンチ

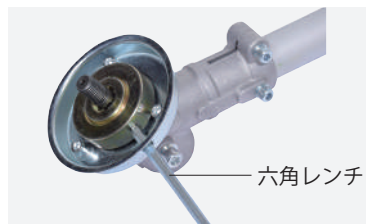
- 1 ギヤケースが上に向くように本体を置きます。



- 2 ギヤケースの固定穴に六角レンチを挿込み固定し、ボックスレンチで取付ナットを時計回り(逆ネジ)に回して刃押さえ金具、ナットカバーを取外します。



- 3 六角レンチをギヤケースの穴に挿込みます。

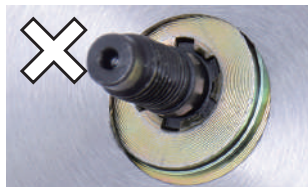


- 4 刃受け金具の凸部分に、刈刃の穴がずれないように、刃の向きに注意して置きます。



⚠注意

刃受け金具の凸部から刃がずれていると偏心を起こし、振動が激しくなります。しっかりはめてください。



5 刃押さえ金具を取付けます。この時、刃受け金具から刃刃がずれやすくなりますので、ご注意ください。



6 ナットカバーを挿込み、ギヤケースの固定穴に挿込んだ六角レンチを押さえ回転を止めながら、ボックスレンチで取付ナットを反時計回りに回し締付けます。

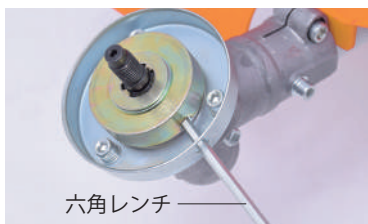


ナイロンカッターの取付け

ナイロンカッターを取付けます。

■使用工具：六角レンチ、ボックスレンチ

1 メインパイプのギヤケースの穴と刃受け金具の穴を合わせ、六角レンチを挿込み回転を止め固定します。



2 ナイロンカッターのネジ部をセンターボルトにねじ込み（反時計回り）、六角レンチで回転を止めながらしっかり締付けます。締付けが弱いと使用中に外れ、大変危険です。



ユニットパイプの取付け

ユニットパイプをメインパイプに接続します。

※パイプ内のシャフトには、パイプを接続する度にグリスを塗布してください。

1 ①ノブナットを緩め（反時計回り）、②ユニットパイプのロック穴とメインパイプのロックピンの穴の位置を合わせ、③ロックピンを引きながらユニットパイプを挿込みます。



2 ロックピンを引っ張りながらユニットパイプがメインパイプに突き当たるまで挿込み、ロックピンがパイプの穴に入った気配があったら指を放します。

⚠注意

ロックピンが確実にロック穴に入っているか、パイプを引き、抜けないか確認してください。パイプを回すとロックピンが入っていれば、パイプは回転しません。



3 ノブナットを時計回りに回してしっかり固定します。



👉メインパイプが入らない場合

メインパイプを挿込む際に中にシャフトがあります。多角形になっているものが本体側（メス）とメインパイプ側（オス）にあり、それがしっかりはまる様に一度突き当たった後に左右に回します。（下記写真○部分）しっかりかみ合えばそこから更に奥に入ります。





メインパイプ側 (オス)



ユニットパイプの取外し

メインパイプまたはユニットパイプを本体パイプから取外します。

- 1 ノブナットを緩めます。
(反時計回り)



- 2 ①ロックピンを引き、ロックを外しながら、②パイプを引抜きます。



※抜いた際に、パイプ内のシャフトが連結したままの状態になってしまった場合は、web取説の点検整備・清掃の仕方「シャフトのグリス補充」をご覧ください。

肩掛けストラップの取付け

- 1 肩掛けストラップのフックを、向きに注意しながら本体のハンガーに引っ掛けます。

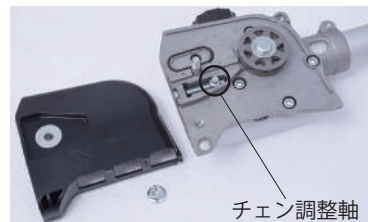


チェーンソーユニットの組立て

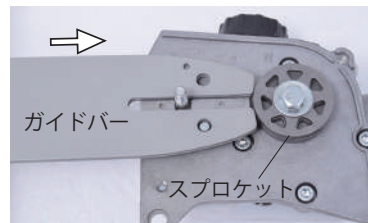
警告

- ・ソーチェンを取付けるときは、必ずエンジンを停止してください。
- ・刃の取扱いは、手袋着用の上、行ってください。

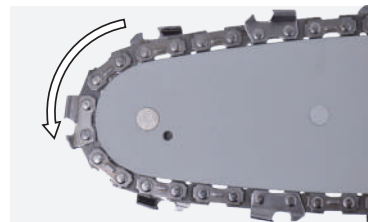
- 1 チェンカバー取付ナットを取外し、チェンカバーを取外します。



- 2 ガイドバーをスプロケット寄りに取付けます。ガイドバーには表裏はありません。

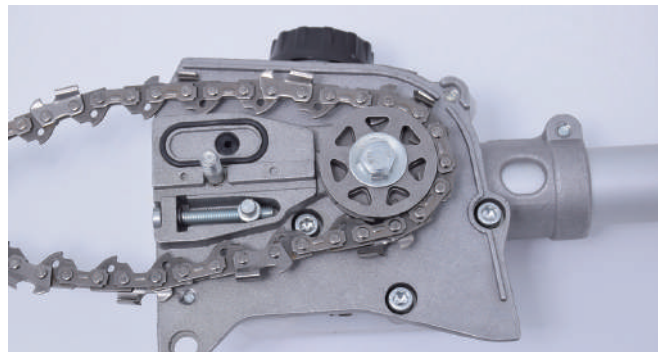


- 3 ソーチェンを、刃の向きに注意してスプロケットにかけ、ガイドバーの溝に入れていきます。

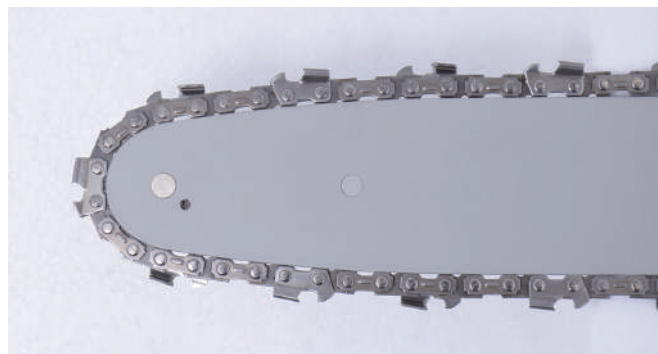


ソーチェンを入れにくい場合

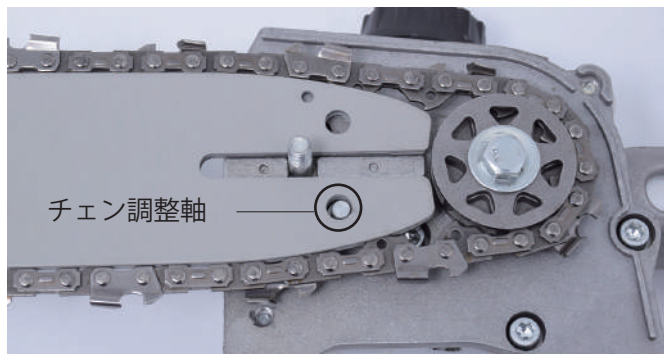
- ①先にスプロケットにソーチェンをはめる。



- ②ガイドバー先端からソーチェンをはめていく。



- ③ガイドバーの穴をチェーン調整軸にはめる。



- ④チェーン調整軸と穴の位置が合わない場合は、チェーン調整ネジをマイナスドライバーで回して、位置を調整する。



- ④ チェンカバーを取付け、
チェンカバー取付ナットを軽く締めてください。



ご使用前の準備

ソーチェーン張りの調整

ソーチェーンは常に適正な張りに調整してください。
新しいソーチェーンは張りの調整を行っても、数回使用するとすぐ伸びてしまいますので、頻繁に調整をする必要があります。
ソーチェーンの張りが弱いと外れやすくなり、強いとソーチェーン、ガイドバーの早期摩耗の原因となります。

- ① ガイドバーの先端を持ち上げながら、チェーン張り調整ネジをマイナスドライバーで時計回り(右方向)に回してソーチェーンを張ります。



- ② ガイドバーの先端を持ち上げながら、チェンカバー取付ナットをしっかり締めます。



- ③ ソーチェーンが手で動くことを確認します。

- ④ ソーチェーン張りは、ガイドバーとの隙間が出ないように張ります。チェーンオイルを入れた後、エンジンをかけ、チェーンを回した時にたるみがあれば、張りの調整をします。

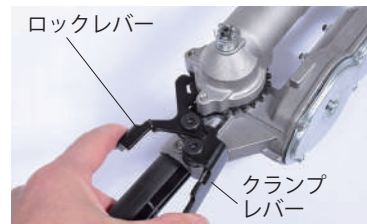


ヘッジトリマーの角度調整

警告

- ・ヘッジトリマーの角度を調整するときは、必ずエンジンを停止してください。
- ・刃の取扱いは、手袋着用の上、行ってください。

- ① ロックレバーとクランプレバーを指で握り込むとヘッジトリマーの刃部分のロックが外れ、角度の調整ができます。



- ② 作業場所に合わせて角度を調整します。刃は270°の範囲で角度を調整できます。



運転前の点検

警告

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンと2ストロークエンジンオイルの混合燃料を使用してください。ガソリンだけで運転するとエンジンが焼き付きます。
- ・混合燃料は、一度に使い切るだけ作ってください。

⚠️ 注意

- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・長期間使用しない場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・弊社は、燃料の販売はしておりません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・燃料タンクに、2ストローク用オイルだけを入れないでください。
- ・燃料タンクに4ストローク用オイル、チェンオイルを入れないでください。



混合燃料25:1の作り方

市販の25：1～50：1というような幅を持たせた混合燃料やその他使用範囲のある混合燃料は、絶対に使用しないでください。
エンジン焼き付きの原因になります。

★必ず指定のオイルを指定された割合で混合してください。

- 1 無鉛レギュラーガソリン
 - ・2ストローク用オイル JASO FB級以上
 - ・漏斗(じょうご)
 - ・混合タンク(付属)
 を準備します。
- 2 混合タンクを25:1と表示されてる向きにします。
- 3 左にオイル、右にガソリンを入れます。オイルを"5"の位置まで入れた場合、ガソリンも"5"まで入れます。
- 4 混合タンクのキャップをしっかり締め、混合タンクを振り、カクハンします。

B混合タンク



25:1 ガソリン オイル割合 早見表	ガソリン	オイル	ガソリン	オイル
	100ml	4ml	400ml	16ml
	200ml	8ml	500ml	20ml
	300ml	12ml	600ml	24ml

燃料の点検・補充

燃料の量を点検し、不足している場合は補給します。
古い燃料は使用しないでください。

■燃料の給油

- 1 混合燃料(25:1)を準備します。(「混合燃料25:1 の作り方」参照)
- 2 燃料キャップ面を上にして開け、少しずつこぼさないよう漏斗(じょうご)等を使い給油します。
- 3 給油が終わったら燃料キャップをしっかり閉めます。



チェンオイルの点検・補充

チェンソーユニットをご使用の場合は、必ずチェンオイルを給油してください。また、量が少ない場合は補充をしてください。
チェンオイルの不足はガイドバー、ソーチェンの摩耗を早め故障の原因になります。

■チェンオイルの給油

- 1 チェンソー専用オイル を準備します。
- 2 オイルタンクキャップ面を上にして開けます。
- 3 チェンオイルを、少しずつこぼさないようにジョッキや漏斗(じょうご)等を使い、「MAX」のラインまで給油します。
- 4 給油が終わったらオイルタンクキャップをしっかり閉めます。



ソーチェンの点検・交換

チェンソーユニットをご使用の場合は、必ずソーチェンの状態を点検し、切れ味が悪くなったら目立てを行い、不具合がある場合は新しいソーチェンに交換してください。

⚠️ 警告

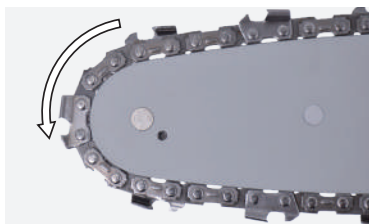
- ・ソーチェンの点検・交換時は、必ずエンジンを停止してください。
- ・ソーチェンの交換は、手袋着用の上、行ってください。

- 1 ソーチェンの緩み、ひび割れ、曲がり、欠け、摩耗がないか点検します。
- 2 緩みがある場合は張りの調整を行います。(ご使用前の準備「ソーチェン張りの調整」参照)

3 摩耗している場合は、目立てを行います。(点検整備・清掃の仕方「チェーンの目立て」参照)

4 不具合がある場合は、新しいソーチェーンに交換してください。(取付方法は、組立て「刈刃の取付け」参照)

5 ソーチェーンの向きが合っているか確認します。



刈刃の点検・交換

刈刃ユニットをご使用の場合は、必ず刈刃の状態を点検し、不具合がある場合や切れ味が悪くなったら、新しい刈刃に交換します。

警告

- ・ 刈刃を点検・交換をするときは、必ずエンジンを停止してください。
- ・ 刈刃の交換は、手袋着用の上、行ってください。

1 刈刃の緩み、ズレ、ひび割れ、曲がり、欠け、摩耗がないか点検します。

2 取付ナットに緩みがある場合は締付けます。(組立て「刈刃の取付け」参照)

3 刈刃の取付けにズレがある場合は取付けをやり直してください。(組立て「刈刃の取付け」参照)



4 不具合がある場合は、新しい刈刃に交換してください。(取付方法は、組立て「刈刃の取付け」参照)

5 刃の向きが合っているか確認します。



ヘッジトリマーの点検・交換

ヘッジトリマーユニットをご使用の場合は、必ず刈刃の状態を点検し、不具合がある場合や切れ味が悪くなったら、新しい刈刃に交換します。

警告

- ・ 刈刃を点検・交換をするときは、必ずエンジンを停止してください。
- ・ 刈刃の交換は、手袋着用の上、行ってください。

1 刈刃の緩み、ひび割れ、曲がり、欠け、摩耗がないか点検します。



2 緩みがある場合は締付けます。

刃に歪みや曲がりがなく、動きが鈍い場合は、締付けを少し緩めます。(web取説の点検整備・清掃の仕方「ヘッジトリマーの刃の交換」参照)

3 不具合がある場合は、新しい刈刃に交換してください。(web取説の点検整備・清掃の仕方「ヘッジトリマーの刃の交換」参照)

運転操作の仕方

警告



- ・ 燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・ 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・ エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。
- ・ 回転している部分の近くに手や足を入れないでください。



- ・ エンジン始動時、刈刃が回り始めることがあるので、刈刃が地面等に触れていないことを確認してください。
- ・ 必ず両手でしっかり本体を保持してください。
- ・ 平坦な場所で作業を行ってください。
- ・ エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・ 本機から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- ・ 少しの移動でもエンジンを停止し、ハンドルを持って運搬してください。

注意

エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

エンジンのかけ方

■エンジンが冷えている時のかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが冷えている場合です。翌日の再始動などがこれに当たります。

1 エンジンスイッチをON「| 側」にします。



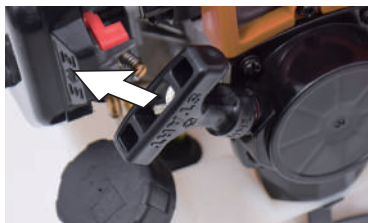
- 2** プライマリーポンプに燃料が溜まるまで繰返し押しします。リターンパイプに燃料が流れることを確認します。



- 3** チョークレバーを引上げ「閉|」にします。



- 4** 本機をしっかり保持し、リコイルスターターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真っすぐに素早く60～70cm引張ります。



※引く距離が短いとエンジンはかかりません。

⚠注意

チョークレバーを「閉」の状態、リコイルスターターを引き続けると燃料を吸い込みすぎて、エンジンが始動しにくくなります。万が一、濡らしてしまった場合は、web 取説「困ったときの対処法（点火プラグの点検）」をご覧ください。

- 5** 初爆…「ブルンッ」というエンジンがかかりそうな音が一回だけ起こるまで、5 回繰り返します。

⚠注意

- ロープを最後まで引き切らないでください。
- 引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。

👉 リコイルの引き方ポイント

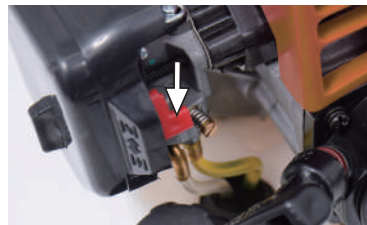
※写真は、別機種



- ① 良い例：約70cm引いている。
- ② 良い例：穴に対してロープが真っ直ぐ。
- ③ 悪い例：抵抗がありエンジンがかかりにくく、ロープが摩擦で切れます。

●初爆が確認できた場合

- 1** チョークレバーを下げ「開|」にします。



- 2** リコイルスターターを素早く数回引きます。

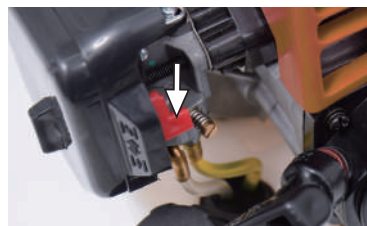
※エンジンが冷えている時や燃料切れで補充したときは、10回以上ロープを引くことでエンジンがかかりやすくなります。

- 3** そのまま暖気運転を30秒程度行います。この時、刈刃が回転する場合は、アイドル調整を行ってください。（web取説の点検整備・清掃の仕方「アイドル調整」参照）

- 4** エンジンが止まりそうなら、エンジン回転を上げます。（エンジンをふかす）（web取説の運転操作の仕方「エンジンの回転数の上げ方」参照）

●初爆と同時に始動した場合

- 1** チョークレバーを下げ「開|」にします。



- 2** そのまま暖気運転を30秒程度行います。この時、刈刃が回転する場合は、アイドル調整を行ってください。（web取説の点検整備・清掃の仕方「アイドル調整」参照）

- 3** エンジンが止まりそうなら、エンジンの回転を上げます。（エンジンをふかす）（web取説の運転操作の仕方「エンジンの回転数の上げ方」参照）

■エンジンが温まっている時のかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが温まっている場合です。再始動などがこれに当たります。

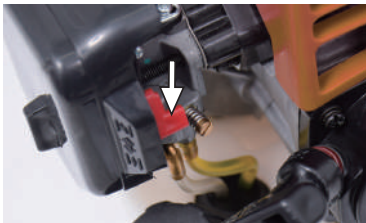
- 1** エンジンスイッチをON「|側」にします。



- 2** プライマリーポンプを繰返し押しします。（5回前後）リターンパイプに燃料が流れることを確認します。



- 3** チョークレバーを下げ「開」にします。



- 4** 本機をしっかりと保持し、リコイルスターターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真すぐに素早く60～70cm引張ります。エンジンがかかるまで数回繰り返します。
- ※引く距離が短いとエンジンはかかりません。

⚠注意

- ・ロープを最後まで引き切らないでください。
- ・一度に6回以上は引張らないでください。
- ・引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。

- 5** エンジンがかからない場合は、運転操作の仕方「■エンジンが冷えている時のかけ方」を行ってください。

👉 エンジンの回転数の上げ方

セーフティボタンを握った状態でアクセルレバーを引くとエンジン回転が速くなります。



セーフティボタンとアクセルトリガーをゆっくり握っていき、アクセルトリガーがエンジン始動位置で固定されます。

エンジンの止め方

- 1** アクセルレバーより手を放し、低速運転にします。
- 2** エンジンスイッチを OFF 「○側」に押しします。



※詳細はWEB取説をご覧ください。

保証内容について

2025.10 現在

本規約は、ハイガー(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。

弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。

返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がありますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日（ご来店引取の場合ご来店日）から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。

保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。

・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。

・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。

・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

(1)純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合

(2)保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合

(3)一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合

(4)取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合

(5)示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合

(6)弊社が認めていない改造をされたもの

(7)地震、台風、水害等の天災により生じたもの

(8)注意を怠った結果に起きたもの

(9)薬品、雨、雪、氷、塩分等による外から受ける要因によるもの

(10)使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)

(11)機能に影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)

(12)弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品

(13)使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、パネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)

(14)保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等

(15)商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡ください。

またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。

症状・使用状況を伺い、手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。

・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。

・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。

・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。

・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

・無在庫転売(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。

また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

■アフターサービスについて■

1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。

2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。

4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。

5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。